

1 事業の成果

当法人内にて発足し継続して活動を行なっている「浦戸湾・色彩計画専門部会」において、色彩から考えるまちづくりの取り組みとして、「色彩計画原案」の作成や、建造物への塗り替え提案、検討アドバイスできる機関としての策定協議会の立ち上げなど、一定の成果を挙げる事ができた。また、四国の山や水源地を守り、循環型社会を構築する活動としての木質バイオマスの利用促進の取り組みに於いても成果を挙げる事ができた。併せて、地域の活性化と地域NPOの設立支援に於いて、高知県南東部地域で成果を挙げる事ができ、今後の活動につなげる事ができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
浦戸湾みらい会議事業	市民自らが浦戸湾の将来像を考えるとともに、行政と市民とのパートナーシップの実現を目指した事業。	2000.1.29 ～ 継続中	高知市内	60	不特定多数	-
受託事業「高知港色彩計画基礎検討調査」	平成15年度と本年度に行った関連調査の資料を基に、高知工科大学との共同研究で、色彩計画の目標・色彩計画の基本方針・ゾーン別方針を検討し配色計画までをまとめた「浦戸湾・色彩計画原案」を作成した。また、浦戸湾・色彩計画の推進および円滑な実施に向けて、原案の修正や承認、推進方法の検討、実施のための企画・調整・協議に関することを行う策定協議会を2回開催・運営した。	2004.10.18 ～ 2005.3.14	高知市内	60	不特定多数	1,295
受託事業「高知港浦戸湾色彩計画検討調査委託業務」	浦戸湾周辺に立地する企業や一般の市民を対象に、本計画の周知・啓発を目的として「港の景観と色彩計画」と題し、勉強会を行なった。また、参加者アンケートを行ない、勉強会の内容・色彩計画についての評価を調査した。また、市民・企業関係者を対象に計3回のワークショップを開催し、参加者に実際に海上や陸上の視点場から浦戸湾の景観を見てもらい、現状を知ってもらったうえで、どうすれば改善されるかを話し合った。併せて、色彩計画や色彩の効果を視覚的にわかりやすく伝えるツールとして、色彩ハンドブックを1,500部作成した。	2004.12.9 ～ 2005.3.15	高知市内	60	不特定多数	721
受託事業「みなとまちづくり構想検討調査業務」	浦戸湾を県民市民及び高知県を訪れる観光客等にとってより身近なものとするための情報提供と併せて、学校教育の場において小学生の副読本として平成14年度に作成した「浦戸湾むかしものがたり」の資料として活用し、県民市民の財産である浦戸湾を後世に残していけるものとする。また、高知県東部の奈半利町では、サンゴウオッチング船の運航、学術調査、さらに奈半利町中心部に残る歴史的建造物が近年脚光を浴び、港、そしてごめん・なはり線奈半利駅を中心とした観	2004.8.6 ～ 2005.3.10	高知県内	120	不特定多数	3,182

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
	光・交流に多くの人々が集まれるようになってきた。更に奈半利町は、今年度高知県で最初の「みなとオアシス」に登録された。そこで、「高知港・浦戸湾周辺」「奈半利港周辺」において、それぞれの地域としての独自性、また観光・交流事業を活性化させるために、住民が主体となって地域資源や情報を調査し、将来のみなとまちづくりの基礎資料として「情報マップ」を作成した。					
受託事業「平成16年度四国みちふしん高知市公演企画運営業務」	多くの市民が高知市の魅力や活力を再発見してもらい、これからの地域のあり方やふるさとづくりについて、親子、そして地域の方々と共に楽しみながら未来を考える契機となることを目的として上演された劇団「ふるさときゃらばん」によるミュージカル「四国みちふしん」の高知市公演に於ける企画・運営を行った。	2004. 11. 12 ～ 2005. 2. 16	高知市内	27	不特定多数	780
太陽光発電式公衆街路灯(3基)移設	2003年度に環境ウォッチングや各種イベント開催等の拠点づくりと駐車場機能・防災機能を目的として高知市横浜に設置した太陽光発電式公衆街路灯3基を、より有効活用のできる西隣の高知市漁業協同組合横浜水産施設内に移転した。	2004. 6. 20 ～ 2004. 10. 20	高知市内	15	不特定多数	736
ベレットストーブ普及事業	木材の有効利用をすることによって、四国の水かめ「土佐のいほく」の水源地を守るもので、嶺北地域の木材を原料とする、木質ベレットを使用したベレットストーブのレンタルを行なった。この事業が軌がることにより、間伐材等の有効な利用が促進され、嶺北地域の水源の森がより整備されていけば、四国のモデル的な取組みになることと思う。また、「平成16年度木質バイオマス利用促進事業」として、アンケート調査の実施、普及啓発活動として燃焼実演、「木とぬくもりを考える会」と題した研修会を実施した。	2003. 12. 1 ～ 継続中	四国内	31	不特定多数	4,098
補助事業「室戸市浮津地区における自主防災活動を通じたまちづくりの展開に向けた調査」	みなとまち室戸に於いて、防災まちづくりワークショップを通して地域住民自身が、(1)世界に通ずる固有の魅力ある地域にする、(2)持続可能なまちづくり、を考えるきっかけづくりを支援した。また、室戸市の都市づくりに貢献していくためのまちづくり組織の立ち上げ支援を行なった。	2003. 11. 21 ～ 2004. 3. 21	奈半利町	10	不特定多数	1,262
助成事業「住まい・まちづくり活動の普及啓発に資するシンポジウム」	このシンポジウムを通して、室戸市浮津地区の住民に、防災まちづくりを考えるきっかけを提供することを目的に開催した。シンポジウムでは、高知工科大学の教授3名を講師として①「自主防災のあり方とは?」、②「鉄鋼製津波浸水避難施設の開発」、③「みなとまち室戸の防災まちづくり」と題して講演を行なった。	2004. 10. 1 ～ 2005. 2. 28	室戸市	15	不特定多数	519

(2) 収益事業
該当なし。